

# 水泳・日本学生選手権競技大会

## 同800メートルでも4位

9月7日から9日まで、東京辰巳国際水泳場で日本学生選手権水泳競技大会が行われた。岩永美里(経営4・八王子高)が女子400メートル自由形で3位(4分14秒05)、同800メートルで4位(8分45秒51)に入賞した。

「調子がよかったので、いい結果が出るのではないかと考えていた」と話すように、400メートルでは関東学生選手権のタイムを5秒も縮める自己ベストを記録した。一方で、「800メートルはベストタイムより5秒くらい遅く、満足していない」と、悔しさをにじませている。

最後の日本学生選手権を振り返り、「1年次に比べ、成長したと感じる」と語る。入学時から「専大のエース」としてさまざまな大会で入賞、活躍してきた彼女は、「頑張った」と応援してくれ

## 女子400メートル自由型 岩永が3位入賞



▲ 400メートルで自己ベストを記録、3位入賞した岩永(撮影・小川)

# 専大スポーツ

No.319

大会結果 予定は体育会ホームページ 専大ホームページ スポーツからアクセスで確認ください  
専大ホームページ 編集部 web(http://sensupo.web.fc2.com/) でも大会結果を配信しています

## 相撲・全国学生個人体重別選手権 75kg未満級で田中が準優勝

全国学生相撲個人体重別選手権が9月16日、大阪府の堺市大浜公園相撲場で行われ、75kg未満級で田中佑樹(商2・埼玉栄高)が準優勝した。

この大会には8月の東日本学生相撲個人体重別選手権でベスト8入りした選手が出場。専大からは、同級の田中と植木隆之(経営1・埼玉栄高)が出場した。

植木は1回戦で敗退となったが、田中は決勝戦に進出。決勝では植木が敗れた渋谷(関学大)に敗れた。

田中は「自分の相撲である、引かずに前に出て取り組む相撲」で準優勝できたのはうれしいが、



▲ 75kg未満級で準優勝した田中(撮影・大嶋)

## 男子が団体戦3位

### 個人でも梶原主将が3位



2012 TOPY CUP 日米大学対抗ゴルフ選手権(9月11、13日、福島・棚倉田舎倶楽部)で男子が団体戦で3位(283、273、282、トータル838)。個人でも梶原英明主将(経営4・大分高)が3位タイ(68、64、72、トータル204)と好成績を残した。

梶原主将は「ショットを引く張った梶原(写真)は全国大学ゴルフ対抗戦のもの」

## ゴルフ部 大活躍!

### TOPY CUP 日米大学対抗選手権

8月31日から9月7日、札幌市の北海道立体育センターで東日本学生バドミントン選手権が行われ、女子ダブルスで浦谷夏末(商2・尚志高)・篠田未来(文2・富岡高)組が準優勝を果たした。

トーナメント方式で行われたこの大会。準決勝は平井亜紀(商3・高松商高)・山田真央(文3・埼玉栄高)組との同門対決となったが、浦谷・篠田組がストレート勝

「これまでも、レベルの高い選手を相手に挑み、チームの勝利に貢献できるように努力」と話した。(林 裕太・法2)

なく、団体戦のメンバーに入り、チームの勝利に貢献できるように努力」と話した。(林 裕太・法2)



▲ 準優勝した浦谷(左)と篠田

## 女子が準優勝 男子は3位に

関東大学秋季Aブロック対抗戦(9月19、20日、埼玉・こたまゴルフクラブ)では男子が3位となり、同女子(9月5、6日、静岡・富士カントリークラブ)は準優勝と専大勢が活躍した。

この結果、男女ともに10月の信夫杯争奪日本大学ゴルフ対抗戦の出場権を獲得した。



卓球・秋季関東学生リーグ戦 男子3位、女子は6位 王と劉が優秀選手賞に

秋季関東学生卓球リーグ戦が9月5日から13日、墨田区総合体育館で、男子は初戦の埼玉工大を4-2で破ると、続く筑波大、日大、中大にも勝利し、開幕4連勝を飾った。その後、早大、明大に敗れたものの、駒大に快勝し、5勝2敗。この結果に田中健奨主将(商4・滝川第二高)は「優勝を狙っていた。」(湯澤 時生・人間科学)

田)と振り返った。また全日本学生選手権に向け、「目標はベスト4。挑戦者の気持ちを持たずに戦いたい」と口をそろえた。

なお、関東大学秋季リーグ戦(9月15、23日、日体大健志台キャンパス)は3位と、昨年より1つ順位を上げた。(鈴木 詩織・文2)写真(真も)

◇ゴルフ部  
▽信夫杯争奪日本大学対抗戦/同日本女子大学対抗戦  
10月25、26日(千葉カントリークラブ)  
◇フェンシング部  
▽全日本大学対抗選手権/全日本学生個人選手権  
11月7、11日(京都・大山崎体育館)  
◇スピードスケート部  
▽全日本距離別選手権  
10月27、28日(長野県工ムウエーブ)



国際大会 出場選手

優秀選手賞を受賞した王凱(経営4)は「優勝を争った。個人では劉莉莎(商2・日南学園高)が優秀選手賞を受賞した。高宮啓子(文2)は「王を中心にして、優勝を目指したい」と来季に照準を合わせていた。

臨みたい(浦谷)、「準優勝という実感はない。だがこの結果はどこへ行ってもついてくると思うので、そのプレッシャーを力に変えたい(篠田)と振り返った。

また全日本学生選手権(9月5、6日、墨田区総合体育館)では、男子は初戦の埼玉工大を4-2で破ると、続く筑波大、日大、中大にも勝利し、開幕4連勝を飾った。その後、早大、明大に敗れたものの、駒大に快勝し、5勝2敗。この結果に田中健奨主将(商4・滝川第二高)は「優勝を狙っていた。」(湯澤 時生・人間科学)